

# 日本好配当リバランスオープンの運用状況

日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

2017年12月18日

「日本好配当リバランスオープン」は、「トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2017」の、投資信託部門 株式型 日本 インカム（評価期間3年）において、『最優秀ファンド賞』を受賞しています。

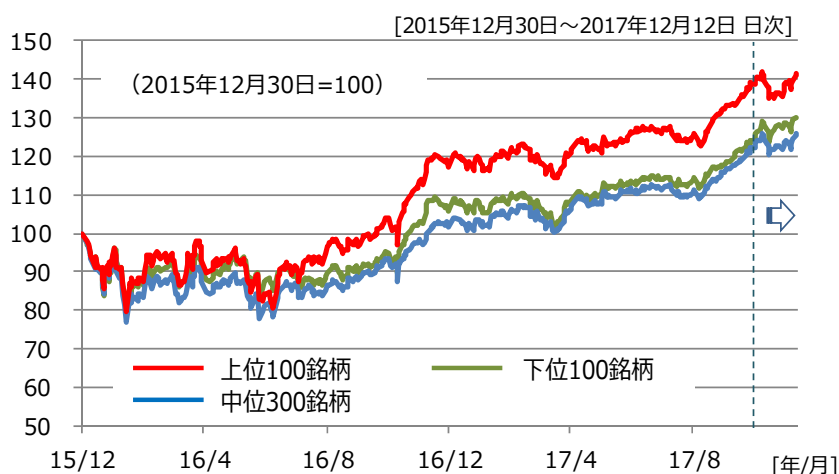
## 1. 11月以降のパフォーマンス

国内株式市場は、11月上旬は好調な企業決算や業績見通しの上方修正を受けて、主力大型株がけん引するカタチで大幅に上昇しましたが、11月の月央にかけては、米国の税制改革に対する先行き不透明感や、投機筋とみられる利益確定の売りに押され下落しました。その後、12月にかけては、米国株式市場の上昇を受けて緩やかに上昇しました。その中で、好配当株につきましては、投資家の関心が配当収入よりも業績の伸びに集まったことなどから、前月に続き株価の上昇率が抑えられる結果となりました。

日経500種平均株価構成銘柄を予想配当利回りの高い順に上位100銘柄、中位300銘柄、下位100銘柄の3グループに分類して11月以降のパフォーマンスを計測したところ、予想配当利回り上位ほどパフォーマンスが劣化する傾向がみられました(図表1)。当ファンドのパフォーマンスにつきましても、相対的に配当利回りが高い銘柄のパフォーマンスの伸びが抑えられたことから日経500種平均株価を下回る結果となりました。

一方、上記の3グループについて、1株当たり純利益の伸び率を計算したところ、上位100銘柄と下位100銘柄の数値が良好でした(図表2)。これは両者とも企業業績は総じて堅調なもの、利益を配当に振り向けるか、成長投資や内部留保に振り向けるかで経営判断が分かれているためと考えることができます。

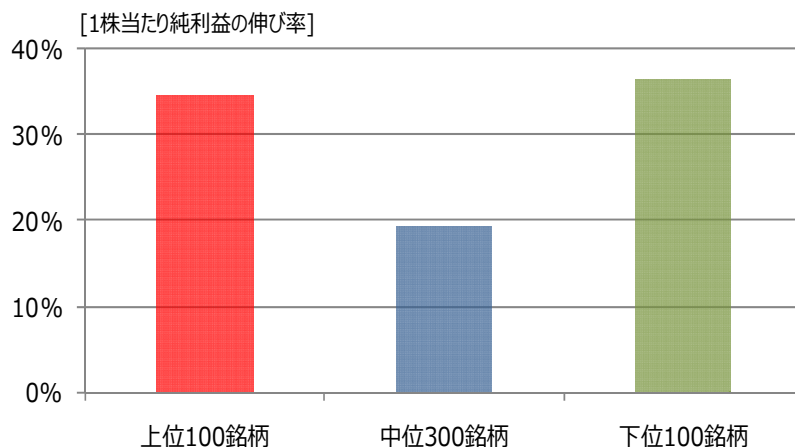
(図表1) 配当利回り別パフォーマンスの推移



※日経500種平均株価採用銘柄について、各月の月末時点で予想配当利回りの上位100銘柄、中位300銘柄、下位100銘柄を抽出し、単純平均パフォーマンスを算出しています。  
※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

(図表2) 1株当たり純利益の伸び率



※日経500種平均株価採用銘柄について、予想配当利回りの高い上位100銘柄、中位300銘柄、下位100銘柄に分類後、1株あたり純利益 (EPS) の当期予想を前期実績で除したものです (単純平均)。前期実績、当期予想のいずれか、または両方がマイナスの銘柄については除外しております。  
※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本好配当リバランスオープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

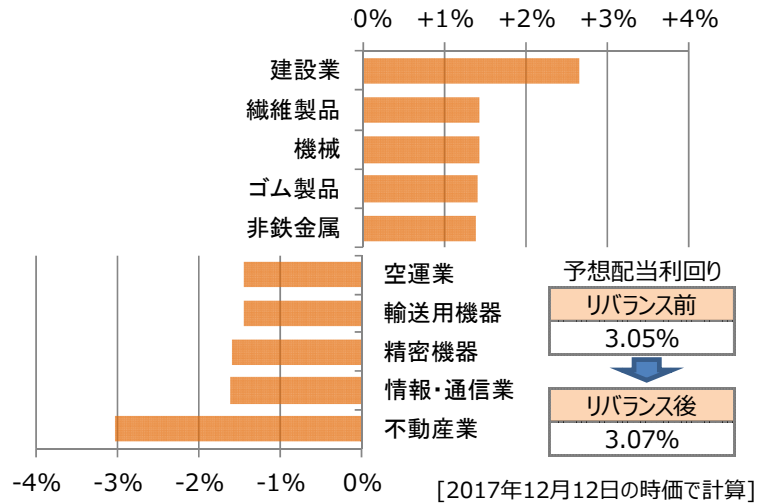
日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

2. 12月のリバランス実施状況

当ファンドの運用につきましては、11月末時点のデータを基に12月の初めに予想配当利回りに基づくランキングなどによる組入銘柄の入替えと投資比率の調整を行いました。11月は決算発表に伴って予想配当の変更や株価変動が相次いだことから、予想配当利回りも銘柄毎にまちまちとなりました。この結果、業種別構成比につきましては、不動産業などの組入比率が低下する一方、建設業などの組入比率が上昇しました(図表3)。組入銘柄の予想平均配当利回りにつきましては、銘柄入替えを行わなかった場合と比べ0.02%上昇し、3.07%となりました。

また、12月12日時点のポートフォリオの構成銘柄において、個別銘柄の予想配当利回りは概ね2.5%を上回っています(図表4)。

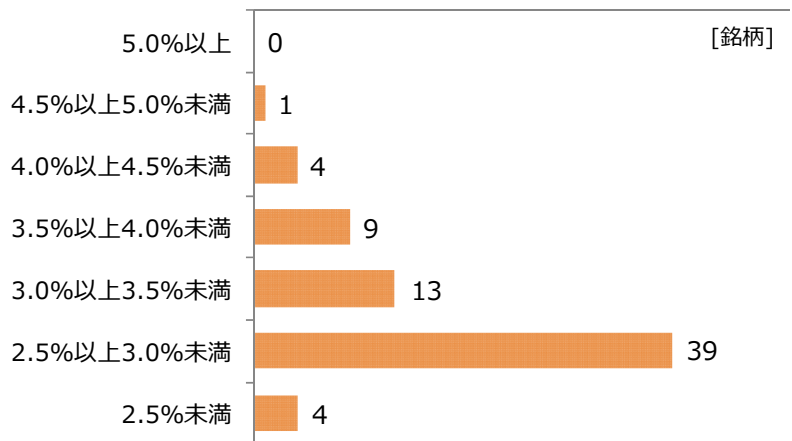
(図表3) 予想配当利回りと業種別構成比の変化



※グラフは組入業種の当ファンドの純資産総額に対する比率の変化を表しています。  
 ※予想配当利回りは単純平均です。  
 ※リバランス前のポートフォリオを保持した場合と、実際のポートフォリオを比較したものです。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

(図表4) 予想配当利回り分布



[2017年12月12日現在]

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本好配当リバランスオープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

3. 基準価額、分配金等の実績

設定来の基準価額の推移



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、作成基準日現在、年率0.8964%（税抜0.83%）の信託報酬控除後です。  
 ※基準価額は、設定日前営業日を1万口当たりの当初設定元本として掲載しております。  
 ※分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を当該分配金（税引前）が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。  
 ※日経500種平均株価は、岡三アセットマネジメントが指数化したもので、設定日の前営業日を10,000としています。  
 ※日経500種平均株価は、参考指数であり、ファンドのベンチマークではありません。  
 ※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。  
 (出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

ファンドの状況

[2017年12月12日現在]

基準価額	11,510 円
分配金再投資基準価額	21,899 円
純資産総額	40.3 億円
株式組入比率	96.1 %
組入銘柄数	70 銘柄
予想配当利回り（単純平均）	3.07 %
東証一部加重平均利回り（参考）	1.83 %

※基準価額は1万口当たりです。  
 ※株式組入比率は、純資産総額に対する比率です。  
 (出所) Bloomberg、QUICKより岡三アセットマネジメント作成

分配金の実績（直近5期）

[2017年12月12日現在]

決算期	分配金
第46期（2016年10月7日）	40 円
第47期（2017年1月10日）	1,300 円
第48期（2017年4月7日）	40 円
第49期（2017年7月7日）	40 円
第50期（2017年10月10日）	40 円
設定来の合計	6,150 円

※分配金は、1万口当たり、税引前です。また、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。



トムソン・ロイター  
リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2017

株式型 日本 インカム 評価期間3年  
最優秀ファンド賞 受賞

「トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2017」は、世界各都市で開催している「Thomson Reuters Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。

トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワードの評価の基となるトムソン・ロイター リッパー・リーダーズのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。トムソン・ロイター リッパー・リーダーズが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リップパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本好配当リバランスオープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

日本好配当リバランスオープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時  
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：換金申込受付日の基準価額×0.3%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中  
運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率0.8964%（税抜0.83%）
- その他費用・手数料  
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式**
**販売会社**

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

2017年12月18日現在

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
アーク証券株式会社	関東財務局長(金商)第1号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
SMBC日興証券株式会社	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
SMBCフレンド証券株式会社	関東財務局長(金商)第40号	○			○
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長(金商)第8号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
上光証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
日本アジア証券株式会社	関東財務局長(金商)第134号	○			
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
二浪証券株式会社	四国財務局長(金商)第6号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社きらやか銀行	東北財務局長(登金)第15号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社東北銀行	東北財務局長(登金)第8号	○			
株式会社東和銀行	関東財務局長(登金)第60号	○			
株式会社東日本銀行	関東財務局長(登金)第52号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

**<本資料に関するお問合わせ先>**

 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)